

令和 7 年度

シラバス

商業科（B）
3 年 2 組

福島県立小名浜海星高等学校

＜観点別評価・評定の算出方法＞

- (1) ①～③の観点別評価は、それぞれを100点満点とし、以下の到達度に応じて観点別評価をします。

観点別の点数	評価
72.6 ～ 100	A
37.6 ～ 72.5	B
0 ～ 37.5	C

- (2) ①～③の観点別の点数を合計(300点満点)し、3で割った点数が評点となり、5段階評価に使用されます(小数点以下四捨五入)。

- (3) 以下の表に基づいて評点から評定を算出します。評定「1」は欠点となり、単位不認定となります。

評点	評定
80 ～ 100	5
65 ～ 79	4
45 ～ 64	3
30 ～ 44	2
0 ～ 29	1

教科	国語	科目	国語表現	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	浅川 康夫	

1 授業の内容と目標

- (1) わかりやすく読みやすい、整った文章を書く力を身につけます。
- (2) 自分の長を他者に的確に伝える力を身につけます。
- (3) メディアによる特性・特徴の違いについて理解します。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度
②	思考・判断・表現	60%	40%	定期考査、小テスト、授業態度、提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト、授業態度、提出物

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	深谷 恵子	

1 授業の内容と目標

- (1) 近現代の歴史の展開を日本と様々な地域の関連性や地理的条件と関連付けて考察する。
- (2) 国家間の対立がおこる過程と経過を多面的・多角的に考察し、国際関係の変化を理解する。
- (3) 戦後の復興の過程と現代の国際社会の諸課題について学び、課題解決に向けて自ら探究する。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・単元テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・単元テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	定期考査・単元テスト・授業態度・提出物

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	佐藤 葵	

1 授業の内容と目標

- (1) 指数関数と対数関数：指数を整数へ広げた指数法則を理解したり、桁数に関係する対数について学びます。計算ができ、グラフがかけ、方程式・不等式が解けることが目標です。
- (2) 微分：微分係数や導関数の意味について理解し、関数の増減、極大・極小を調べたり、グラフをかいたりできるようにします。
- (3) 積分：積分について学び、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積の求め方について学びます。面積の計算ができるようになることが目標です。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考查	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考查、小テスト、ワークシート
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考查、小テスト、ワークシート
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	ノート、行動観察、発表、自己評価

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	高橋・若松	

1 授業の内容と目標

陸上競技、体づくり運動、球技、水泳、ダンスなど様々な運動を通して楽しさや喜びを味わう授業です。次のことを目標とします。

- (1) 約束事やルールを守る態度の確立
- (2) 健康・安全に気をつけて、仲間と協力して、自己の役割を果たす態度を育てる
- (3) 体の調子を整え、体力の向上を図る
- (4) 生涯を通して継続的に運動ができる資質を養う

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考查	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	学習カード、スキルテスト、授業態度
②	思考・判断・表現	0%	100%	学習カード、授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	学習カード、授業態度

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション II	単位数	3
対象クラス		B 3 年 2 組	授業担当者	小松睦	

1 授業の内容と目標

- (1) 新しい表現を学び、まとまった長さの英文を読んで（聞いて）内容を理解し、英語で自分の考えや気持ちを英語で話したり書いたりすることができる。
- (2) 新たに学んだ表現を用い、英語で自分の考えや気持ちを相手に伝えるときに、相手の考えや気持ちを理解した上でやりとりができる。
- (3) 世界中の様々な事象や人物に関する英文に触れた上で、自分自身の考えや住んでいる地域の特性と関連付け、学んだ表現を用いて自分自身や自分の住んでいる地域について英語で発信できる。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度
②	思考・判断・表現	70%	30%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	20%	80%	定期考査・小テスト・授業態度・提出物

教科	商業	科目	課題研究	単位数	3
対象クラス		B 3 年 2 組	授業担当者	高野、堀越、上妻 清藤、大町	

1 授業の内容と目標

- (1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	単元テスト等 コンテスト提出資料等
②	思考・判断・表現	80%	20%	日誌、プレゼン資料等
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	目標資格への学習活動 校外での実習活動

教科	商業	科目	総合実践	単位数	2
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	高野 賢司	

1 授業の内容と目標

- (1) 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスの実務における課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	単元テスト 定期考査
②	思考・判断・表現	80%	20%	単元テスト 定期考査
③	主体的に学習に 取り組む態度	0%	100%	提出物 授業態度

教科	商業	科目	グローバル経済	単位数	2
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	清藤大貴	

1 授業の内容と目標

- (1) 経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解する。
- (2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	0%	100%	小テスト・提出物・授業態度等
②	思考・判断・表現	0%	100%	小テスト・提出物・授業態度等
③	主体的に学習に 取り組む態度	0%	100%	小テスト・提出物・授業態度等

教科	商業	科目	財務会計Ⅰ	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	堀越弘治・上妻祐子	

1 授業の内容と目標

- (1) 財務会計について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の課題を発見し、ビジネスに携わる者として創造的に課題に対応し、会計的側面から企業を分析する力を養う。
- (3) 適切な会計情報の提供と効果的な活用に関心を持ち、協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	50%	50%	定期考査・小テスト・提出物・授業態度
②	思考・判断・表現	50%	50%	定期考査・小テスト・提出物・授業態度
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	小テスト・提出物・授業態度

教科	商業	科目	ソフトウェア活用	単位数	3
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	高野 賢司	

1 授業の内容と目標

- (1) 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に関心を持ち、協働的に取り組む態度を養う。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考 査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	単元テスト（表計算） 定期考査
②	思考・判断・表現	80%	50%	単元テスト（文書デザイン） 定期考査
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	問題集 授業態度

教科	商業	科目	ネットワーク活用	単位数	2
対象クラス	B 3 年 2 組		授業担当者	堀越 弘治	

1 授業の内容と目標

- (1) 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。
- (2) ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (3) ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。
- (4) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用主体的かつ協働的に取り組める。

2 評価の観点

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 の3つの観点を均等に評価します。

評価の観点		各観点における 評価配分		評 価 項 目
		考査	平常点	
①	知識・技能	80%	20%	定期考査・ICT活用
②	思考・判断・表現	80%	20%	定期考査・ICT活用
③	主体的に学習に取り組む態度	0%	100%	レポート・授業態度・ICT活用